

「聴いて・考えて・つなげる」通信



公開授業参観・講師の講演の感想などについて、お書きください。

🌀 「分からない」「困った」が言いやすい環境は本当に大切だと高木先生のご講演を聞いて改めて思いました。生徒たちの「分からない」「困った」の声から発展していく授業が一番生徒たちの身になっている手ごたえを感じます。評価についてはまだまだ課題が山積みですができることから変えていこうと思います。

🌀 今の学校教育に求められていることであったり、普通だと思ったことが必要ではないこともあるのだと感じました。

🌀 十五中のスタダートを活用していこうと改めて思いました。子ども達に考えさせる、話し合わせる。前任校の時と比べるとできている気ではいましたが、子どもたちのためにできることを考えていこうと思います。

🌀 自分もしてしまっているところ、いたらない点など多く振り返ることができました。去年よりは主体的、対話的な授業を目指しているつもりですが、少しずつ前進するしかないなと思いました。

🌀 一年越しに高木先生のお話が聞けていろいろなことを思い出したり考え直したりすることができました。何を学ぶか？どのように学ぶか？を常に念頭に置いて授業づくりをしていかなければいけないと思った。

🌀 「情報を探し出す」これが読解力であるならテキスト（情報をもつもの）の適正化と実践（教材化）をすすめていきたいと思ったが、もう退職に近くなってしまった。残念な気がする。色々な研修を受けてきた。その都度大いにうなずいてきたが消化せず、次

の研修に参加した。「学び方を学ぶ」おおいに取り入れる時間があるだろうか。実践の場はあると思うが伝承にかえたい。

🌀 学びのプランの大切さを改めて知ることができた。

🌀 確かに聴いている側からすると、前に立っている人がずっと話し続けるというスタイルはとても退屈なものだと感じました。今自分が働いている現場の状態などでよく見なければならぬと感じました。そしてその生徒にあった授業づくりをしなければならぬと分かりました。

🌀 短時間では理解がむづかしい内容でしたが繰り返して理解していきたい。

🌀 公開授業参観については増やしていくのがいいのかなと思いました。講師講演については三年前から聞いていて今年本当に授業について変えていかないとその都度思うようになりました。

🌀 チャレンジテストのために教科書の範囲を期日までに終わらないといけませんができるかぎり繰り返し学習をしたいと思った。

🌀 今まで大学や大学院で学んだことを改めて確認することができた。ひとつひとつの授業における問いを深く考えていかなければならぬと感じた。

🌀 評価の方法の例を知れたのはとても参考になりました。今日の資料ももう一度きちんと読んでみたいと思います。CCAの話はああ～となりました。

🌀 授業があって参観ができませんでしたが、主体的な学びがもっと必要であると感じました。

🌀 教師がしゃべらない授業というのを全く自分はできていないと痛感しました。生徒の分からないを取り上げられていないと思いました。学習指導要領中心で授業内容を再考しなければと思いました。

🌀 初めて高木先生の講演を伺い、私が今していることは古いなと思い知らされました。中学校の先生たちに向けでありながら小学校種へ向けた内容も多くあり、今できることをしなければいけないなと深く感じました。

🌀 子どもが説明する授業の構成をしっかりと考えていきたいです。学び直しを今後やっていきたいと思いました。わかる人？とよく聞いていましたがそれもダメなんだと反省しました。

🌀 時代が変わった〇〇中のカリキュラムが必要だということは理解できました。共感できることもたくさんありましたが、高校入試をどうしても意識した授業になってしまうと自分自身で感じています。

「学ぶ」ということと「入試問題が解ける」ということのずれまたは共通する部分について考えながら授業づくりをしていきたいと思いました。

🌀 自分が聞くには耳の痛いものも多くありました。チーム学校や生徒を主語にするのは本校の目指しているところでおおいに参考になりました。

🌀 小学校で外国語を教えています。中学一年生ではどのような内容をどのように教えているのかが知りたくて来ました。中学は「オールイングリッシュだ」といううわさも聞いていてビビっていましたが安心しました。先生や子どもたちが使っている英語量も想像通りだったので安心しました。ありがとうございました。

🌀 これまで十五中が取り組んできた授業の積み上げた部分が大きいと思いました。「考える時間」と「授業進度」と兼ね合いについて学校ごとで、单元ごとで学習指導計画を作ることで共有できると思いました。

🌀 二年生の家庭科を参観させていただきました。教科の特性上なかなか他の家庭科の先生の授業を見る機会がなく、今日はとても勉強になりました。興味の持たせにくい单元を生徒たちが楽しそうに説明している姿、発表の工夫、参考にさせていただきます。ありがとうございました。

🌀 普段は聞けないことを少しの時間でたくさん詰め込んで教えていただきました。十五中のチームの一員として改めて頑張ろうと思いました。

🌀 チーム十五中で統一意識をもって授業を行っているのが伝わってきました。一人で学習が完結しないようになっていてどの授業もそうありたいと感じました。講演を聞いていて、一個人の教員が聞いていても学校全体を動かすのはむつかしので管理職等が聞いて各校に下さないという意味がないのかと思いました。上が変わらないと何も変わりません。

🌀 子どもの目線から授業を作るということを改めて大切だと感じました。そして、その授業をもとに評価していく方法を詳しく教えていただけて良かったです。

🌀 八中でも講演していただき、分かった気になっている自分がいました。でもその後、他の先生方に説明するとなるとうまく説明できず、高木先生のお話の中身そのものを同じだなと感じています。評価など、難しい課題は多いですが子どもたちのために工夫して向き合っていこうと思います。

🌀 教科の特性、先生方のよさ、キャラクターをうまく生かせるようにしつつも全体でとりくむ際には統一性を保つバランスの難しさを感じながらも大切だと再確認しました。指導と評価の一体化となると評価方法に着目してしまいがちでしたが、改めて授業の視点で考えていくことが一番すぐにすべきことかもしれないと思い、後半は明日の授業のことを考えてきていました。

🌀 十五中が近年目指してきた取り組みを細かく職員で共有できたことが良かったと思いました。

🌀 公開授業を見せていただきありがとうございました。授業を丸ごと見せてもらうことができるのは貴重な場だと思います。先生の声掛けや子どもたちの活動から自分の授業にも活かしていきたいです。